

水資源政策に係る最近の話題

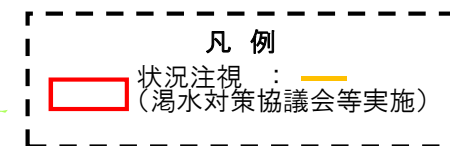
令和5年9月14日

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部

全国における渇水状況

【9月11日時点】

- ◆ 全国でダム貯水率の低下、河川流量の減少がみられ状況を注視しています。
- ◆ 関東・北陸・中国地方では、渇水調整協議会等を開催して、取水制限の検討や節水の呼びかけなどを実施しています。
- ◆ なお、国管理河川において、取水制限を実施している河川はありません。



荒川水系荒川・北陸地方整備局

荒川渇水情報連絡会幹事会
(8月22日、9月4日)
(河川流量の減少)

信濃川水系信濃川・北陸地方整備局

信濃川渇水調整協議会(8月9日)
信濃川下流水利用情報連絡会(8月9日)
信濃川中流域水利用情報連絡会(8月8日)
(河川流量の減少)

※正常流量は確保しているが、河川流量の状況を注視

※奈良井ダム(信濃川水系奈良井川)
[F,N,W](39%:9月11日時点)⇒貯水率20%を目処に取水制限を実施予定

阿賀野川水系阿賀川・北陸地方整備局

阿賀川渇水情報連絡会
(8月30日)
(ダムへの流入量が低下傾向)
※大川ダム[F, N, A, W, I, P] (90% 9月11日時点)

江の川水系江の川・中国地方整備局

江の川渇水調整協議会幹事会(9月4日)
(ダム貯水率の減少)

※灰塚ダム[F, N, W](39%-9月11日時点)
⇒既得水分の放流について20%削減を実施
(9月4日より)。9月13日に江の川渇水調整
協議会幹事会を開催予定。

犀川水系犀川・石川県

犀川水系渇水調整協議会(8月24日)
(犀川ダムの貯水率低下)

※犀川ダム[F, N, W, P](27% 9月11日時点)
⇒10%の自主節水を実施(8月24日より)

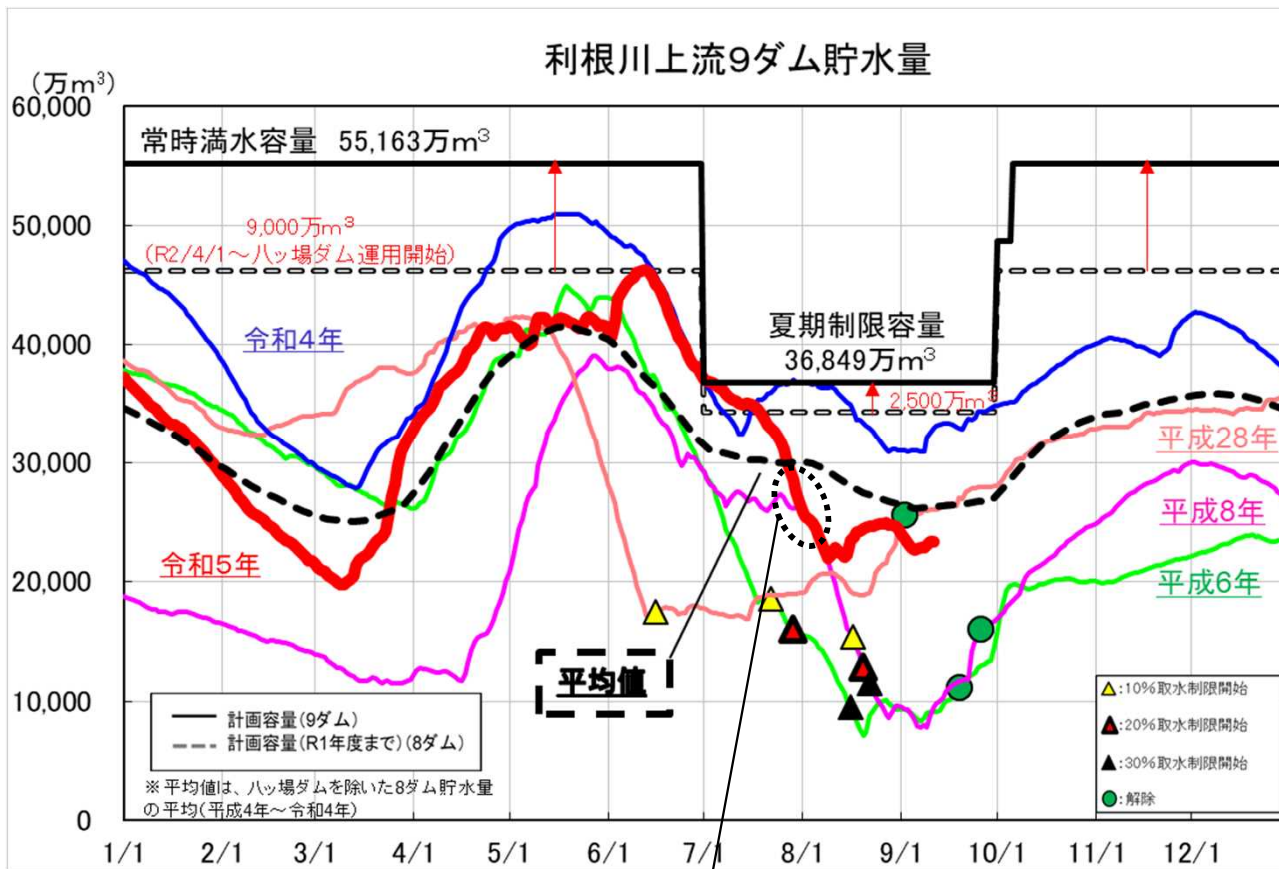
利根川水系利根川・関東地方整備局

利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会(8月7日)
(利根川上流ダム群の貯水率が低下)
※利根川上流ダム群(64% 9月11日時点)

利根川水系における渇水と対応

- ◆ 利根川水系では、平成28年以来7年ぶりの夏渇水となりました。7月～8月上旬にかけての記録的な猛暑と小雨により、8月2日には利根川上流ダム群の貯水率が70%を下回りました。
- ◆ その後も更に貯水率の低下が予測されたことから、8月7日に「利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会」を臨時に開催し、取水制限のタイミングなどについて関係都県の担当者と意見交換を実施し、開催結果をお知らせしました。
- ◆ 幹事会以降はHP やマスメディアを通じて利根川上流ダム群の貯水率低下の情報提供を行うと共に、国土交通省・各利水者から「節水のご協力」を住民に呼びかけました。

利根川上流9ダム合計貯水量図(令和5年9月11日0時時点)



30%の取水制限が実施された平成8年夏と同程度の貯水量

渇水対応

◇利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会

8月7日に「利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会」を臨時に開催し、取水制限のタイミングなどについて関係都県の担当者と意見交換を実施。



利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会

◇節水の呼びかけ(事例)

国土交通省 関東地方整備局では、今後さらに貯水量が減れば取水制限をする可能性もあるとして日ごろからの節水に協力を呼びかけ。



関東地方整備局ポスター

埼玉県では、庁舎での垂幕掲示、HP掲載。

東京都では8月18日の定例会見で知事が節水協力の呼びかけ。



埼玉県本庁舎垂幕掲示状況

渇水についての広報

- ◆ 全国の渇水状況などを渇水情報総合ポータルに一元化して掲載し、9月5日より今回の渇水状況を取りまとめて発信を開始しました。
- ◆ 渇水リスクの認知を上げていくため、渇水や対応状況に加え、感応性(影響の深刻さなど)を踏まえ、過去の利根川の渇水(平成6年、平成8年)における取水制限時の影響や首都圏渇水時の影響例など、生活や社会経済への影響を取りまとめて掲載しました。

渇水情報総合ポータルサイト

ホーム > 政策・仕事 > 水管理・国土安全 > 水資源 > 渇水情報総合ポータル

目次

- 過去の渇水情報
- 国土交通省渇水対策本部
- 渇水対策関係省庁会議(提供:内閣官庁)
- 全国のダム貯水状況
- 全国のリアルタイムダム情報一覧
- 水道用水(提供:厚生労働省)
- 工業用水(提供:関東経済産業局)

渇水情報総合ポータル

[最終更新: 2023年9月11日]

渇水状況について

- 全国の渇水状況(2023年9月11日時点)
 - ・ 全国でダム貯水率の低下、流量の減少が見られ状況を注視しています。
 - ・ なお、国管理河川において、取水制限を実施している河川はありません。渇水対策本部の設置はありません。
 - 最新状況はこちら
- 各地の状況(2023年8月以降)
 - 【東北地方整備局管内】
 - ◎ 最上川水系
 - ・ 最上川
 - 9月6日 [最上川水系渇水情報連絡協議会幹事会\(臨時\)](#)
 - 8月9日 [最上川水系渇水情報連絡協議会幹事会\(臨時\)](#)
 - 【関東地方整備局管内】
 - ◎ 利根川水系
 - ・ 利根川
 - 【貯水率等】
 - 【利根川上流9ダム貯水率(貯水率等)】
 - 【会議等】
 - 8月7日 [利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会\(結果\)](#)

節水の取り組み

- ◎ 各自治体の取り組み

参考資料

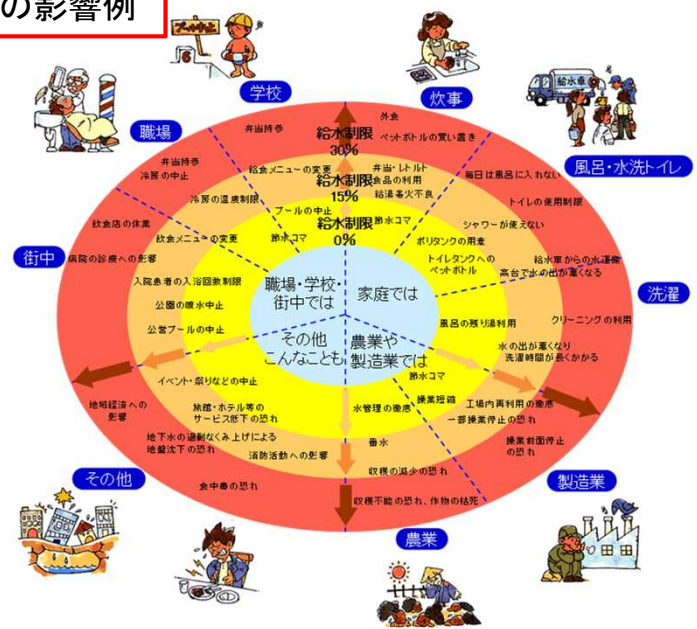
- 過去の渇水について(平成6年、平成8年の利根川水系の取水制限の例)
- 首都圏渇水時の影響例
- 渇水対応タイムラインについて
- 令和4年版 日本の水資源の現況について

過去の渇水について(平成6年、8年利根川の例)

- 10%取水制限時**
- 東京都で一部多摩川水系から補給(H6)【上水】
 - 配水圧の調整、給水バルブ調整【上水】
 - 農業用水ポンプの時間運転、ゲート操作による調整【農水】
- 20%取水制限時**
- 10%取水制限時の対策に加え以下の対策を実施。
- 公園の水道停止【上水】
 - 番水の実施【農水】
- 30%取水制限時**
- 20%取水制限時の対策に加え以下の対策を実施。
- 小中学校等プール中止【上水】
 - 生産ラインの制限【工水】

上水	埼玉県の一部地区で断水 千葉県の一部で減水(影響戸数:約39万戸、影響人口:約102万人) 茨城県でプールの使用中止(61校) 公園への給水停止(35施設)
工水	千葉県で製品及び設備への影響(製品3事業所、設備4事業所)・操業短縮(3事業所)

首都圏渇水時の影響例



渇水発生時には、病院診療への影響、水力発電停止に伴う電力不足、飲食業店等の営業停止、家事(炊事、洗濯等)及び日常生活(風呂、トイレ等)への影響など多大な被害の発生が想定される。

以下のURLをご参照ください。

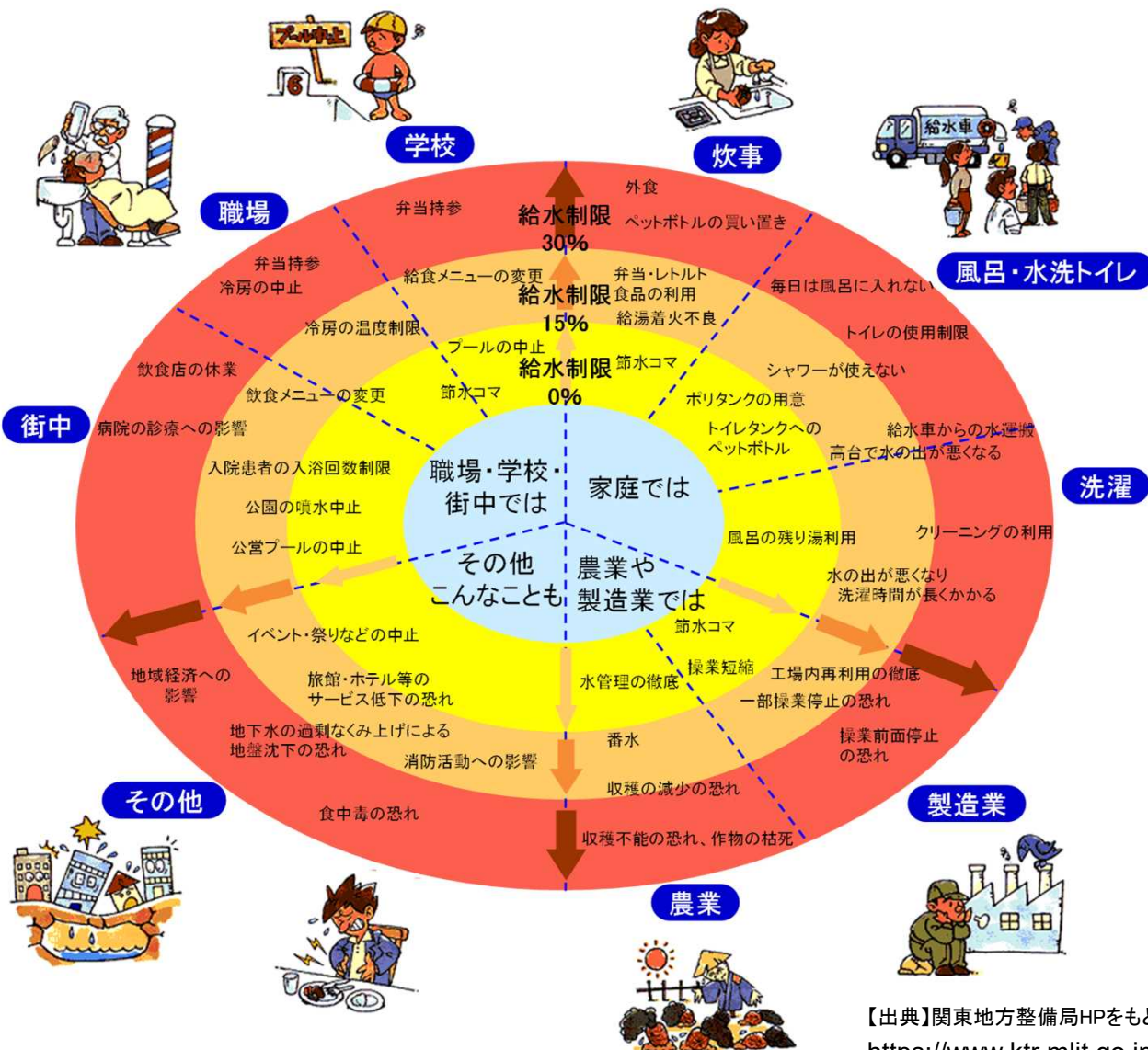
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizukokudo_mizsei_kassui_portal.html

<首都圏渇水時の影響例>

参考 首都圏渇水時の影響例

➤ 渇水発生時には、病院診療への影響、水力発電停止に伴う電力不足、飲食業等での営業停止、家事（炊事、洗濯等）及び日常生活（風呂、トイレ等）への影響など多大な被害の発生が想定される。

<首都圏渇水時の影響例>



<過去の大規模渇水時の生活・社会経済活動への影響例>

- 平成6年渇水(松山市、佐世保市)
 - ・病院患者への治療・手術水の確保(透析時間の短縮等)。
 - ・トイレの一部閉鎖、くみ置き水による対応。
 - ・断水中に初期消火できず延焼拡大。
- 平成6年渇水(香川県)
 - ・ホテル・旅館の宿泊客大幅減。
 - ・理髪店の洗髪支障、飲食店の臨時休業。
 - ・32日間、5時間給水が継続。
- 令和2年断水(静岡県清水区)
 - ・トイレ、風呂が使用不可。
 - ・宿泊施設のサービス提供困難による営業停止。
 - ・食品会社の製造困難による営業停止。
 - ・区内病院の透析治療困難による転院対応。

【出典】報道発表資料をもとに水資源部で作成

【出典】関東地方整備局HPをもとに水資源部で作成

https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/river_bousai00000055.html

新潟県における高温・渇水被害と対応

- ◆新潟県では、令和5年7月21日以降まとまった降雨がなく、高温・干ばつにより、水稻の枯死、葉の枯れ上がりなど農作物等に影響が生じたことから、農作物等への被害を軽減するため渇水被害応急対策支援、速やかな収穫等の呼びかけが実施されています。
- ◆農業用ダムの貯水状況は、令和5年8月17日時点で、全23か所の平均貯水率で34.0%（平年比で54.4%）であり、番水の強化、ダムからの計画以上の用水供給、消雪パイプ用井戸の活用など、例年を上回る規模や水準で渇水対応が実施されています。

農作物等の状況

- ① 7月21日以降まとまった降雨がない影響により、天水田や小・中河川流域等の水田を中心に、枯死、葉の枯れ上がりや巻き上がりなど、高温・干ばつの影響が広がっている。
- ② 園芸品目では、主にえだまめで莢の黄化や肥大不足、アスパラガスで焼けや奇形茎による品質低下が見られる。

渇水被害応急対策支援

（令和5年7月21日より、新潟県がHPにて公表）

①かん水用機械等整備対策

農業者等が農作物及び錦鯉への干ばつ被害を軽減させるために行う対策（ポンプ車やポンプ等の借り上げ、ポンプやタンク等の購入）に要する経費に対して、市町村が補助するのに要する経費

②干ばつ応急対策（県単農業農村整備事業〔拡充〕）

土地改良区等が行う水路の造成、揚水施設（井戸、揚水機等）の設置、送水管の配置、揚水機の購入及び借り上げ等に要する経費

③干ばつ災害復旧対策（県単農業農村整備事業〔拡充〕）

市町村、土地改良区等が行う干ばつ災害復旧事業に要する経費

速やかな収穫の呼びかけ

（異常高温・高飽差緊急情報第2号、令和5年9月1日）

新潟県HP

令和5年度 水稻生育状況・技術対策速報

印刷 文字を大きくして印刷 ページ番号：0510000 更新日：2023年9月4日更新

お知らせ

飽差情報の提供を開始しました（8月18日）。

「異常高温・高飽差緊急情報第2号」を発出しました（9月1日）。

「フェーン・異常高温緊急情報第4号」を発出しました（8月29日）。

異常高温に対応するため、水稻における水管理の徹底を呼びかけています（8月4日）。

異常高温・高飽差緊急情報（第2号）

令和5年9月1日
新潟県農林水産部

8月30、31日に異常高温と強い乾燥が県内で観測されました。収穫直前の稲では、胴割粒発生の危険性が高まっています。
初黄化率が80%以上のコシヒカリでは、できる限り速やかに収穫してください。

用水の現状と渇水対応

1. 農業用ダムの貯水状況

農業用ダムの貯水状況は、令和5年9月4日時点で、必要な農業用水の供給を終えたダム（12か所）を除く、全11か所の平均貯水率で11.3%、平年比で22.2%。

2. 農業用水の渇水対応

渇水時の対応として、以下の取組を例年を上回る規模や水準で実施

- （1）上越市等において、約15千haの農地で、番水を強化
- （2）早出川ダム等において、約4.3千haの農地に計画以上の用水を供給
- （3）魚沼市等において、約450haの農地で、消雪パイプ用井戸を活用
- （4）その他の取組として、農業排水を用水に反復利用するなど、約240haの農地を対象に実施

※ 同一の地域で、上記（1）～（4）のうち重複して取組が実施されている場合がある。

【農業用水の渇水対応（例年を上回る規模や水準で実施しているもの）】

(1) 番水の強化	(2) ダムからの計画以上の用水供給※1	(3) 消雪パイプ用井戸の活用	(4) その他※2
約15,000ha	約4,300ha	約450ha	約240ha

※1 決められている放流量以上に用水を放流してもらうもの

※2 農業排水を反復利用するなど

水道水で渇水による減断水の発生はなく、工業用水道で給水支障は出ていない。

※第3回 新潟県渇水情報連絡会資料（令和5年9月5日）より

秋田県を中心とした大雨による水道断水と対応

- ◆ 令和5年7月15日からの秋田県を中心とした大雨により、水道については秋田県の5市町(秋田市、男鹿市、八峰町、五城目町、井川町)で最大で10,840戸、13日間の断水が発生しました。なお、現時点で断水は解消しています。
- ◆ 災害時の相互応援協定に基づく派遣等により他県市町を含む延べ4千人程度が対応に当たりました。そのうち、水道断水への対応では、職員や給水車等の派遣がなされ、応急給水活動等が実施されました。

【令和5年7月15日からの大雨による水道被害と復旧状況】

○水道の被害状況

秋田県内の5市町において、約10,840戸が断水。なお、現時点で断水は解消済み

県・市町村 ・事業者名	断水戸数(戸)		断水 期間	被害等の状況
	最大	現在		
【秋田県】 秋田市	約280	0	7/15~ 7/27	・冠水によるポンプ停止 ・水管橋の損傷 ・原水の濁り
おがし 男鹿市	約3610	0	7/15~ 7/20	・土砂崩れによる管路損傷
はっほうちょう 八峰町	約1300	0	7/15~ 7/25	・土砂崩れによる管路損傷
ごじょうめまち 五城目町	約3400	0	7/16~ 7/26	・浄水場浸水
いかわちよう 井川町	約2250	0	7/17~ 7/17	・取水停止
合計※	約10840	0		

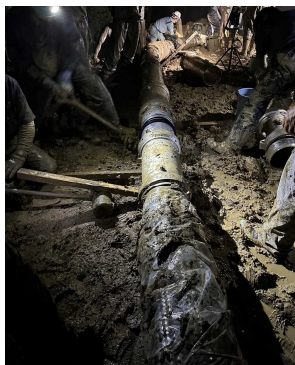
※：各市町村等の断水戸数の合計

「令和5年7月15日からの大雨について(第14報)」
厚生労働省令和5年8月7日15時00分現在より

○水道管復旧(事例)

大雨による土砂崩れで7月15日に茶臼配水場の送水管が破損し、男鹿市で断水が発生。

24時間体制で作業にあたり、7月18日の深夜には仮復旧工事が完了、19日午後10時には断水が解消。



深夜の復旧作業



貯水タンクと送水管 「男鹿市HP」より

【派遣状況等】

災害時の相互応援協定に基づく派遣	延べ2,101名
応急給水業務に係る派遣	延べ105名
総務省応急対策職員派遣制度による他道県※1からの受入	延べ545名
他県市町※2(水道企業団を含む)からの受入	延べ1,483名
計	延べ4,234名

「令和5年7月14日からの大雨による被害状況等について(第26報)」
(令和5年9月5日16時00分 秋田県災害対策本部)より

※1 北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、新潟県

※2 【秋田市】 東京都、岩手県、福島県相馬市、山形県山形市、宮城県美里町、岩沼市、仙台市、気仙沼市、石巻市、岩手県盛岡市、雫石町、釜石市、茨城県常陸太田市、佐賀県武雄市、熊本県熊本市、東京都、福島県郡山市、福島市、青森県八戸市、岡山県倉敷市、神奈川県川崎市、横浜市、千葉県習志野市、館山市(1都1県20市2町)
【男鹿市】 青森県青森市、弘前市、八戸圏域水道企業団、岩手県盛岡市、岩手中部水道企業団(3市2水道企業団)
【五城目町】 宮城県仙台市、石巻地方広域水道企業団、山形県酒田市、鶴岡市(3市1水道企業団)

【秋田県内での支援状況】

給水業務、家屋被害認定調査 等

○応急給水活動(事例)



日本水道協会東北支部から青森県支部への応急給水活動の応援要請より、青森市は応急給水を実施。(男鹿市内の給水支援状況)

「青森市HP」より



東北地方整備局は、水道断水の発生した男鹿市、五城目町で給水支援として散水車の派遣を実施。(五城目町の給水支援状況)